



かとう しょうご
加藤 将伍

未来にわたり日高市が「自立持続可能性自治体」であることを目指す

「企業誘致」推進の成果は

答弁 約100社の企業誘致・5,000人超の雇用創出

動画で一般質問を
ご覧いただけます



問 インターチェンジに近接する立地優位性を生かした企業誘致の成果に対する恩恵は。

答 昼夜間人口比率が、10年間で92%から98%に上昇（県内上位）。立地企業に係る固定資産税・法人市民税の課税額は約8億3,700万円。

問 日高市に生まれ育った若者・学生が、日高市で就職したい・住み続けたいと思える施策は。

答 「ひ・まわり探検隊」事業で、郷土の歴史や文化を学ぶ体験教室を実施し、地域交流も図っている。今年度から、埼玉女子短期大学の学生に、観光資源や特産品、市の仕事について講義、地域を知る愛着を持つきっかけづくりを提供している。

問 「ふるさと納税」受け入れ金額が県内6位の日高市（総務省調べ）。これを生かし、ふるさと納税をきっかけに関係人口の創出・拡大、日高市のファンを増やす取り組みとして考えられることは。

答 ふるさと納税の寄附件数は年間約15,000件。寄附者に対して、地域イベントに関わってもらう・参加してもらう働きかけを行っていく。

カーブミラーの保守・管理について

問 全国各地で老朽化したカーブミラーが倒れ、歩行者を巻き込む事故が多発。保守点検の状況は。

答 今年度から、専門業者による劣化状況等の点検を実施。今後も定期的な点検を実施予定。



かねこ ひろし
金子 博

遺族の心に寄り添う手続き業務を円滑に進めるためにできること

市民サービスの向上について

答弁 死亡に伴う手続き支援とおくやみコーナー設置を検討

動画で一般質問を
ご覧いただけます



問 死亡に伴う手続きで、市ではどのような支援を行っているのか。

答 市のホームページで「おくやみに関する手続きナビ」のページがあり、検索すると必要な手続きが表示される支援。また、「書かない窓口」のサービスでスムーズに手続きが可能となる支援を行っている。

問 おくやみコーナーの設置について市の考えは。

答 おくやみコーナーは、県内で設置する自治体が増え、市民の要望も複数ある。死亡や相続に関する煩雑な手続きをスムーズに行うことができ、

遺族の負担軽減につながるため、関係課と調整を行い設置について検討していく。

マイナンバーカードのさらなる普及について

問 マルチコピー機を庁舎に設置する考えは。

答 市役所にマルチコピー機を設置することは、マイナンバーカードで必要な証明書を取得できるようになり、窓口の混雑緩和や市民サービスの向上が図れるため設置について調査・研究を進めていく。



おくやみコーナーによる
担当者の順次対応イメージ